

●ミニフォト

交通安全の願いを込めて



手をしっかりとあげて横断歩道を渡る

交通安全・地域安全七夕まつりが7月4日、常盤幼稚園で行われました。園児は交通安全に関する願いを書いた短冊や夜光反射材をササに飾り付けた後、正しい道路の歩き方や横断歩道の渡り方などについて学んでいました。

澄んだ音色が響く



演奏した3人

くらしき作陽大学と作陽音楽短期大学の学生によるコンサートが、7月3日に市役所中庭で開催されました。学生はフルートの三重奏で8曲を披露。美しく澄んだ音色に、観客は大きな拍手を送っていました。

スポーツを通じ人権を考える



ボールを使ってミニゲーム

総社西小学校の児童が6月28日、同校でファジアーノ岡山と交流しました。児童はコーチと一緒にボールを使って体を動かしながら、声を掛け合う勇気や、相手を思いやる気持ちの大切さについて学んでいました。

親子で田植えを体験



一株一株丁寧に植え付ける参加者

備中国分寺前の田んぼで、6月24日に赤米の田植えが行われました。参加したのは親子連れら約100人。慣れないぬかるみに苦戦しながらも、丁寧に苗を植え付けていました。稲が赤く色づく9月には、赤米フェスタを開催予定です。

キャラ弁で総社の米をPR



表彰された受賞者

216点の応募のなかから選ばれたそうじゃ産米キャラ弁コンテスト入賞作品の表彰式が6月28日、市役所で行われました。受賞者20人のうち、8人が出席。受賞者には総社産米や特産商品のカレンダーなどが贈られました。

現地に根ざした教育を



決意を述べる平松さん

7月から1年8カ月間、JICAボランティアとしてマラウイ共和国で勤務する平松祐衣さん（倉敷市）が、出発の報告を行いました。英語教諭として総社東中学校で3年間勤務した平松さん。現地では子どもに算数と理科を教えます。

青木さん 100歳おめでとう



家族に祝福される青木さん

青木加志子さん（下倉）が6月18日に満100歳の誕生日を迎えられ、23日に市から記念品が贈られました。手先が器用で、洋裁や編み物をよくしていたという青木さん。長寿の秘訣は、何でもよく食べることだそうです。

発展する総社の企業と医療

新倉庫、新病棟、新工場が続々にしゅん工

市内では新規企業の進出だけでなく、既存の企業の発展も続いています。6月から7月にかけて、事業拡大のため建設が進められていた建物が相次いでしゅん工しました。

6月19日には地域の物流を担う岡山県貨物運送株式会社の新倉庫が井尻野地内に、7月12日には電子部品製造（コンデンサ）を手がける岡山指月株式会社の新工場が見延地内にしゅん工。

また、市の助成事業も活用して新病棟がしゅん工した森下病院では、7月10日から新病棟での一般外来診療が始まりました。救急告示病院として、地域の救急医療を担っています。



岡山県貨物運送株式会社の新倉庫（写真上）、岡山指月株式会社の新工場（写真中）、森下病院の新病棟（写真下）



住宅火災を連携して消火

総社市消防長表彰

中央一丁目地内で発生した建物火災において、発見、通報と初期消火を協力して行い、被害を最小限に食い止めた功績をたたえ、6月30日、溝手真利子さん（中央一丁目）と岡麻奈美さん（地頭片山）に、総社市消防長表彰が授与されました。

6月8日午後7時ごろ、隣接する住宅の物置から火が出ているのを溝手さんが発見し通報。岡さんと共に水道ホースで懸命な初期消火活動を行い、住宅の屋根まで達していた火を鎮圧させました。



消防長から表彰状と記念品が贈られた、溝手真利子さんと岡麻奈美さん（写真左から）

社会を明るくする運動



優秀標語の受賞者

“社会を明るくする運動”総社市推進大会が7月5日、総合福祉センターで開催され、優秀標語の表彰のほか、障がい者などの入居支援活動を行う阪井ひとみさんが講演。参加者は誰もが明るく暮らせる社会について考えていました。

スポーツを通じて地域交流



グラウンドゴルフで真剣勝負

昭和地区ふれあいスポーツ祭りが6月18日、昭和小学校と昭和幼稚園で開かれました。約170人の住民が参加し、分館対抗でのディスコンやグラウンドゴルフ、ペタンクなどで心地よい汗を流し、地域の絆を深めていました。

名前は「レンゲ」と「ウララ」



命名してくれた守屋泰佑さん（写真左）と遠藤愛理さん（写真右）

5月28日と30日にきびじつるの里で自然ふ化したタンチョウの命名式が7月8日、同所で行われました。応募総数732件の中から選ばれた名前は「レンゲ」と「ウララ」。市の花と、温羅伝説をモチーフにしています。